

令和５年度一般監査実施計画

仙台市社会福祉法人・施設指導監査要綱（平成１３年３月３０日健康福祉局長決裁。以下「要綱」という。）第５条の規定に基づき、老人福祉施設に対する令和５年度監査実施計画を次のとおり定める。

１ 基本方針

- (1) 令和５年度の監査は、次に掲げる事項を基本方針として実施する。
 - ① 関連法令、老人福祉施設指導監査指針等に基づく適切な入所者処遇の確保
 - ② 社会福祉施設運営の適正実施の確保
- (2) 令和４年度までの指導監査結果及び厚生労働省令並びに関連通知等を踏まえ、２に掲げる重点事項については重点的に指導する。
- (3) 特別養護老人ホームについては、別途行う介護保険法に基づく運営指導と一体的に行う。
- (4) 軽費老人ホームについては、事務費補助金に係る請求事務等の立入検査と一体的に行う。

２ 重点事項

前回監査における指摘事項の改善状況を確認するとともに、次の６項目を重点項目とする。

(1) 各種規程・人事労務関係諸帳簿の適正化

就業規則について、子の看護及び介護休暇の施行規則の改正に対応していない事例や、年次有給休暇の管理及び付与、雇用条件通知等において必要事項の記載がない事例など、各種規程の不備が見受けられた。また、労働者名簿に必要項目の記載が不十分な事例が見受けられたことから、各種規程が適切に改正されているか、諸帳簿の必要項目が適切に記載されているか等を確認・指導する。

(2) 決算関係書類の作成及び適正化

決算関係書類について、社会福祉法人会計基準（省令）並びに関連通知に基づかない計算関係書類の記載が見られるため、適正な事務処理を指導する。

(3) 虐待防止のための対策及び身体的拘束等の適正化

虐待防止のための対策を検討する委員会の開催、虐待防止のための指針の整備及び職員の研修を定期的に行っているか、身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会の開催、身体的拘束等の適正化のための指針の整備及び職員の研修を定期的に行っているかを確認・指導する。

(4) 衛生管理（感染症対策を含む）・環境整備の適正化

感染症・食中毒の予防及びまん延防止対策及び発生時の対応について、委員会等により適切に講じられているかを確認、指導する。

(5) 事故対応及び再発防止の適正化

重大（骨折等）事故が多発していることから、平常時の事故防止対策及び発生時の対応策または再発防止について、委員会等により適切に講じられているか、報告基準に従って所管課へ報告されているかを確認・指導する。

(6) 防災体制の整備

感染症や災害時に必要なサービスが継続的に提供できるよう非常時の計画や避難訓練の状況が適切に行われているかを確認・指導する。

3 指導監査方法

(1) 実施方法

原則実地指導による。

- ① 役割分担：施設の人事労務管理・経理を総務課が行い，入所者処遇を介護事業支援課が行う。
- ② 監査班：監査に当たる職員2名以上をもって編成する。
- ③ 事前打合せ：監査班において事前に提出資料を確認の上，要点を整理し，重点的に監査を行う箇所等を決定する。

(2) 事前監査資料の提出

一般監査の実施に当たっては，監査の効率化を図る観点から事前提出資料を提出させるものとする。なお，入所者処遇については，施設側の事務負担軽減の観点から，事前提出資料の項目は必要最小限に留める。

(3) チェックリスト

一般監査に当たっては，老人福祉施設指導監査指針に定める確認項目及び確認文書についてチェックリストを参考としながら，監査内容及びレベルの統一を図る。

(4) 監査結果の復命と改善状況の適正管理

監査終了後は，要綱に基づき速やかな監査結果の報告と，指摘事項等の改善状況の適正な管理に努める。なお，監査結果の復命・改善状況の管理は，介護事業支援課で行うものとする。

4 監査日程及び監査実施数

監査日程：令和5年7月から令和6年1月の期間を予定

監査実施数：特別養護老人ホーム24施設，養護老人ホーム1施設，軽費老人ホーム（ケアハウス）5施設